

特定非営利活動法人 被害者支援ネットワーク佐賀VOISS会報

ボイス

VOISS

Vol.12-3

No.38

2012. 3.20

VOISS・ボイスとは、Voice of Isolated Survivor, Supportの頭文字を取ったものです。孤立した被害者（自己の尊厳を回復しようとしているサバイバー）の声を尊重していきたいとする、会の原点を表した愛称です。

鳥栖市長 橋本 康志



東日本大震災発生から一年が過ぎました。

千年に一度の規模と言われる大震災の被災地では、復興までの道りはまだまだ遠く、未だに行方不明者や原発事故への不安など多大な影響を与えていますが、被災地をはじめとして全国的にも、人と人、家族や地域の絆の大切さが再認識されてきたのではないのでしょうか。

犯罪のないまちでない限り私たち誰もが、ある日突然に事件や事故に巻き込まれてその被害者になる可能性があります。それは被害者だけではなく、家族や周囲の人々にも大きな衝撃を与え、また、日常生活にも大きな影響を及ぼします。

安心安全のまちづくりを行う一方で、不幸にして犯罪被害にあわれた方々が再び地域で平穏な生活を営むことができるようお互いに助け合っている地域づくりを進めていくことは、大変重要なことだと考えています。

そのような中で、被害者支援ネットワーク佐賀VOISSの皆様には、犯罪被害者やその家族が抱えられる問題解決のための支援や心のケア、犯罪被害者自助グループへの支援、犯罪被害者支援のための広報・啓発活動など、様々な活動に取り組まれていると聞いております。身近にこのような活動に取り組まれている団体があることは、犯罪被害者の方々やその家族には大変心強いことではないかと思っています。

鳥栖市でも、市民の皆様がお互いに連携し協力し合って暮すことができる社会を形成していくため、小学校区を単位として「まちづくり推進協議会」が設立され、市民と行政との協働によるまちづくりに取り組んでいるところです。

今後、1人でも多くの市民の皆様「佐賀VOISS」を知っていただき、そして、犯罪被害者に対する理解と関心を深めてもらい犯罪被害者への支援の輪が広がっていくことを願っております。

## 平成23年度サポーター養成講座修了式(平成24年1月18日 アバンセ第3研修室)

平成23年6月29日(水)から12回に渡り開催した「サポーター養成講座」は、平成24年1月18日(水)をもって終了しました。

平成23年度は全課程を修了された、初級6人、継続4人の方に「修了証」を交付し、初級コースを修了された6人のうち5人をサポーターとして認定するとともに、継続コースを修了された4人の方を直接支援員として認定しました。

さらに、研修等を重ねながら4人の方にはVOISS直接支援員として活動していただきます。また、5人のサポーターの方たちには来年度の継続養成講座を引き続き受講いただき、直接支援員を目指していただきたいと思っております。被害に遭われた方への十分な支援体制が出来るように支援員の拡充、資質向上に努めていきます。



## 九州・沖縄ブロック研修報告

(沖縄県にて)

平成24年2月25日～26日、公益社団法人沖縄被害者支援ゆいセンター主催による、平成23年度全国被害者支援ネットワーク 第2回九州・沖縄ブロック研修会が開催されました。

今回の研修は、被害者支援の経験年数が概ね3年以上の方が対象となっており、各県からベテランの支援員や相談員が参加されていました。皆さんとても熱心で、日々、被害者支援に携わっていらっしゃる姿を感じることができ、刺激を受けました。研修内容は、直接支援員から相談員を養成するためのものになっていました。相談員には、ケース全体を見通す力や支援員を育成する力が必要とのことで、より高度な面接技術やカウンセリング技術を学ぶことができました。とても内容の濃い、充実した研修でした。今回の研修で学んだことを、今後の支援に活かしていきたいと思っております。(岩田相談員)

## 《命の大切さを学ぶ教室》

龍谷高等学校（平成24年1月26日）にて

社会全体で被害者を支える街づくり事業の一環として、被害に遭われた方の遺族の思いや状況を聴くことにより、高校生が改めて『死』と向き合い、命の大切さを学ぶことを目的とし、平成24年1月26日、学校法人佐賀龍谷学園 龍谷高等学校で開催しました。



講師 江角由利子さん（島根県出雲市在住、交通犯罪遺族）は、1999年12月、鳥取大学在学中の次女（当時20歳）を飲酒運転の車両による交通事故で亡くされ、犯罪者から受けた様々な「痛み」、子供を亡くした親の思い等家族の絆、命の大切さ、加害者も被害者も出さない社会を希求する遺族の思いを語られました。高校生420名、教職員12名が聴講しました。

## 「命の大切さを学ぶ教室」を聞いて（生徒感想文）

平成23年度は「命の大切さを学ぶ教室」を県内の中学校・高校10校で開催しました。生徒たちは「命」というものをどのように感じたのでしょうか。一部を紹介します。

○今日の講話を聞いて私は、あらためて命は尊いものだと思います。私は2年前に、自宅を火事でなくすという経験をしました。今でもその恐怖は覚えています。しかし皆が無事だったのでよかったです。

私も古川さんが言っていたように「いつも明日が絶対に来るとは思わないでほしい」と思います。いつ、どこで、なにが起こるか分からないからです。だから私は、一期一会を大切にし、お世話になっている皆さんに感謝しながら、毎日楽しく過ごしていきたいと思います。

（高校生女子）

○今日の講話を聞き、思ったことは、自分の人生でいい人に出会ったなと思いました。なぜなら、バスジャックの犯人である少年は、いじめにあい、家族からも精神病院に入れられたと聞きました。この少年と自分を比べてみたら、自分はいい人と出会い平和に暮らしてきたなと思います。自分は何でも自由にさせてくれる親がいます。そして、グチを聞いてくれて相談に乗ってくれる友達があります。一緒に遊んでくれて、面白い友達があります。そうして自分は平和に暮らしているのだなと思いました。僕はやりたいことが山ほどあります。それだけで人生楽しく、明るく生きてられると思いました。

（高校生男子）

○私は、飲酒運転の事故が起こった所に行ったことがあります。それは、小学5年の時の福岡

県で起こった事故でした。私たちは、その事故が起きたけっこう後に行ったのですが、まだ、花束がそえてありました。どうしても、この事故のことが忘れられなくて覚えていましたが、佐藤さんのお話を聞いて、その事故のことを思い出しました。まだ、小学生だった私は、その事故のことをさりと受け流しただけでした。が、今の私には、いろんなことが思いうかできます。残された人々は、どういう思いだったんだろうと。佐藤さんの気持ちなどに触れて、やっぱり悲しさは残るし、死者がもどってくるわけではない。それでも、残されている人たちは、人それぞれに自分の道に歩いていっている。それはすごいことだと思いました。それと、自分の命と同じくらい相手や他の人の命も大切にしていかななくてはと本当に思いしらされました。私も精一杯生きたいと思います。(中学生女子)

○今日の浜崎さんのお話を聞いて、人は亡くなっても多くの人に愛されているということを知りました。普通に生活をしていて今日お話をされたようなことがおこるなんて本当に僕にとっては遠い話のような気がしましたが、自分にもいつ、そのようなことがおこるか分からない、仮に自分が死んでしまったら、自分を支えてきてくれた人々が悲しむ、ということを考えることができました。浜崎さんはお通夜の時の話や、火葬場での出来事など話してくれましたが、自分もとても身近な人を小さい時に亡くしました。今思えば、火葬場なんか行きたくなかったし、お通夜も嫌でした。あの時の記憶は今でも覚えています。しかし、それらのことをしなければ、僕は死を受け入れる事は出来なかったと思っています。亡くなった人のためにも早く立ち直って、それでいて、その人のことを一生忘れずに生きていくことが大切だと僕は思います。

そんなことを言いながら、当時うけいれることが全然できなくて、何が何だか、分からなくて泣いてばかりいました。時間とともに受け入れていったのですが、受け入れることが出来たは出来たで、今度は、「何でみんなお母さんがいて自分はいないんだろう」とか「何で自分だけ？」と思うようになってしまいました。それから悩みましたが、過ぎたことは過ぎたこと、と前向きに考えるようにして、いつも見守ってくれていると、思い込むようにして、乗り越えました。亡くなった人にとって、自分のせいで苦しんでもらうよりも、それでも自分を愛してくれることが幸せだと思います。これからも頑張ってください。(中学生男子)

○今日は、松尾さんが金泉中学校の生徒に自分が体験した事について、話をしてくれました。松尾さんは、下関事件で奥さんを亡くして、とてもつらい思いをされていました。僕は、この話を聞いた時、松尾さんの奥さんを殺した人は、なんで、何もしていないのに殺されなければいけないのかなと思いました。松尾さんは絶対、くやしくて、くやしくて、たまらなかつたと思います。何で同じ人間同士で殺したりするのだろうと思います。松尾さんは、とても悲しいと思います。帰ったら玄関の電気は付けてなくて、いつもは、ご飯や洗濯は奥さんがやって、とても温かい家族だったと思います。松尾さんは、自殺についても話してくれました。自殺は、自分におかす罪で、やってはいけないことだと思いました。自殺はいじめなどで起こるものだと思います。僕はこの話を聞いて、あらためて命の大事さがわかりました。ぼくは、こんな事が絶対に起きないように、日ごろの友だちなど仲間を大切に命を大切にしていきたいなと思います。今日はお忙しい中、来てくださってありがとうございました。今日はこの話を聞いてとてもいい経験になりました。(中学生男子)

## 佐賀犯罪被害者・交通犯罪被害者遺族の会 自助グループ

# 「一歩の会」

先日、2歳になる孫娘を連れ、近所の公園へ散歩に出掛けました。桜の木の蕾は少しふっくらとふくらんできました。道端には菜の花、はこべ、ほとけのざ等の花が咲いています。孫娘は小さな手で花を摘みながら「ママのおみやげにする」とおしゃべり。春風にそよぐ柔らかい髪の毛の横顔を眺めながらこのような穏やかなひとときを迎えられた事に感謝しました。先の、大震災から一年が経ちました。被災された方々に一日でも早く平穏な日々が訪れることをお祈りいたします。

### ○ 11月

- 5日 一歩の会定例会
- 11日 佐賀少年刑務所講話
- 13日 犯罪被害者支援フォーラム参加

### ○ 12月

- 6日 麓刑務所講話

### ○ 1月

- 5日 VOISS 理事会
- 14日 一歩の会定例会
- 20日 県警被害者支援室相談訪問
- 29日 毎日新聞取材



### ○ 2月

- 9日 入口さん事件 鳥栖駅ビラ配布
- 14日 テレビ朝日取材（スーパーJチャンネル真実の行方）
- 16日 平成23年度交通事故被疑者サポート事業における各種相談窓口等意見交換会参加（内閣府主催）
- 22日 福岡拘置所講話
- 25日 山梨県ビラ配り（轢き逃げ事故）  
大分県別府日蓮宗社協会講話

### ○ 3月

- 3日 一歩の会定例会

平成23年度VOISS会員ご入会のお礼

H23. 11. 1～H24. 3. 15 迄にご入会の方です  
**ご協力ありがとうございました**

#### ○ 【正会員】（順不同、敬称略）

新開貴夫、池田正弘、島田浩二、原康由輝、平田正次、梅崎敬子、永田潔治、才津文子、匿名1名。

#### ○ 【賛助団体】（順不同、敬称略）

佐賀県公安委員会、医療法人源勇会 枝國医院、西九州大学、JA佐賀信連（3口）九州保温工業（株）、（医）永田天寿堂医院。

#### ○ 【賛助会員】（順不同、敬称略）

江島千鶴子、桑原健、武藤佳奈子、千代島秀幸、匿名1名。

平成23年度 被害者支援相談件数報告 (平成23年度累計)

活動内容		殺人	傷害	性犯罪	DV	児童虐待	その他	計
相談活動	電話相談	90	29	30	77	16	197	439
	電子メール相談	26	1	25	17	0	8	77
	面接相談	11	1	9	7	1	3	32
小計		127	31	64	101	17	208	548
直接支援	裁判傍聴付添い	3	0	2	1	0	0	6
	他機関付添い	3	0	2	4	0	0	9
	病院付添い	0	0	0	0	0	0	0
	証明書代理手続き	0	0	0	0	0	0	0
	自助グループ支援	7	0	0	0	0	0	7
	その他	5	0	1	0	0	0	6
小計		18	0	5	5	0	0	28
合計		145	31	69	106	17	208	576

平成24年3月20日現在

平成23年度 育児支援家庭訪問事業報告

平成23年度の育児訪問家庭は4家庭に5クール（1クール…3ヵ月）の訪問をしました。延べ訪問回数は90回、支援時間は延べ173時間でした。4人の子ども家庭支援員の方がそれぞれの母親が抱える不安や悩みを聴きながら、信頼関係を築き児童が身心ともに健康に育つことを第一に考えて、母親の不安を少しでも軽減することにつながってくればと考えています。佐賀市子ども課と連携をとりながら、それぞれの立場で支援についての検討会を開き支援内容の再検討をしながら支援活動に取り組みました。

平成23年度 児童虐待防止専門化講座事業報告

平成23年度は下記のとおり4回の講座を開催いたしました。今年度のテーマは「児童虐待防止法施行から10年、もう一度見直してみよう！」でした。受講参加人数は延べ1,041人です。予防や早期発見の重要性を訴えながら、増加する児童虐待にどう取り組むか、地域での課題です。

H23. 6.17	地域子どもたちを守るために	谷川弘幸さん	民生・児童委員 主任児童委員
H23. 9.17	命はぐくむ「こうのとりのゆりかご」 から見えてくるもの	田尻由貴子さん	母子保健推進員、保健師 保育士、幼稚園教諭
H23.11.11	虐待が子どもに与える影響	西澤 哲さん	一般、関係機関等
H24. 1.23	学校でできる児童虐待防止の取り組み	奥村賢一さん	小・中学校関係者

## &lt;VOISS活動報告&gt;

## 11月

- 1日 ライトファンタジー
- 2日 バルーン会場チラシ配り
- 5日 運営会議
- 9日 犯罪被害者フォーラム広報
- 11日 第3回 佐賀市児童虐待防止専門化講座
- 13日 2011 犯罪被害者支援フォーラム
- 17日 全国共通DVホットライン
- 19日 佐賀市人権フェスタブース参加
- 20日 ゆめタウンチラシ配布
- 26日 ゆめタウンチラシ配布

## 12月

- 1日 全国共通DVホットライン  
佐賀市子育て事例検討会
- 3日 運営会議  
SV研修会
- 7日 第11回養成講座
- 8日 命の大切さを学ぶ教室(成章中学校)
- 11日 命の大切さを学ぶ教室(三根中学校)  
イオンイエローシートキャンペーン
- 14日 熊本ベーシック研修打ち合わせ
- 15日 全国共通DVホットライン
- 16日 DV総合対策専門部会
- 22日 嬉野温泉病院支援自販機広報活動
- 24日 SV研修会

## 1月

- 5日 第3回理事会、全国共通DVホットライン
- 7日 運営会議
- 14日 一步の会
- 18日 養成講座修了式
- 19日 全国共通DVホットライン
- 21日 SV研修会
- 23日 第4回 児童虐待防止専門化講座  
支援自販機広報活動
- 24日 支援自販機広報活動
- 26日 命の大切さを学ぶ教室(龍谷高校)
- 31日~1日 熊本ベーシック研修

## 2月

- 1日 育児支援検討会
- 2日 全国共通DVホットライン
- 3日 支援自販機広報活動
- 4日 運営会議
- 7日 入口さん調印式(鳥栖署)
- 8日 DV専門部会
- 9日 第2回DV実務者研修会
- 10日 育児支援検討会
- 11日 イオンイエローシートキャンペーン
- 16日 内閣府交通サポート意見交換会  
全国共通DVホットライン
- 17日 佐賀市要保護児童対策地域協議会
- 19日 SV研修会
- 20日 県老社協支援自販機広報
- 21日 JA信連広報活動
- 23日 佐賀競馬場支援自販機広報  
育児支援検討会
- 24日 VS協議会
- 25日~26日 九州・沖縄ブロック研修
- 29日 小城市要保護児童対策地域協議会

## 3月

- 1日 全国共通DVホットライン
- 3日 運営会議
- 5日 フォーラム検討会
- 15日 命の大切さを学ぶ教室(北茂安中学校)  
全国共通DVホットライン
- 17日 SV研修会
- 22日 第3回DV総合対策協議会
- 29日 全国共通DVホットライン

## ※寄付金、募金のお礼

平成23年度

寄付金 467,237円

募金 61,858円

たくさんのご寄付、募金どうも

ありがとうございました。



支援自販機設置企業紹介

- ① 佐賀トヨペット (株)
- ② 佐賀女子短期大学
- ③ (有)大町自動車学校
- ④ (株)武雄自動車学校
- ⑤ (有) 虹の松原自動車学校
- ⑥ 篠原宅 (鳥栖)
- ⑦ 川久保自動車教習所
- ⑧ 竹中、松尾、中野、唐津土建  
特定建設工事共同企業体
- ⑨ (社)建設業協会佐賀
- ⑩ 弘学館中・高校学校
- ⑪ 東京海上日動ファシリティーズ (株)  
九州支店
- ⑫ 三井住友海上火災保険(株)  
佐賀支店
- ⑬ こが医療館クリニック
- ⑭ 兵庫北土地区画整理組合
- ⑮ 嘉瀬川リバーサイドゴルフ場
- ⑯ ゆめタウン佐賀      ⑰ 石丸自動車
- ⑱ 嬉野温泉病院 (2機)      ⑲ (株) 佐電工      ⑳ (医) 永田天寿堂医  
C S O支援自販機他 (5機)  
計 26機 (設置順)

ボイス  
被害者支援ネットワーク佐賀 VOISS支援自販機  
デザイン案 1



電話相談

TEL 0952-33-2110

月～金曜日 午前10時～午後5時 (土・日・祝日、12/28～1/3を除く)

メール相談

E-mail [voiss@f3.dion.ne.jp](mailto:voiss@f3.dion.ne.jp)

～ 会 員 募 集 ～

会員になってVOISSの活動を支えてください。また、寄付も随時受け付けています。

【年会費】 正会員            個人        3,000円            団体        10,000円  
              賛助会員        個人 1口 2,000円            団体 1口 10,000円

【郵便振替口座】        01740-7-8016

【発行】 特定非営利活動法人 被害者支援ネットワーク佐賀 VOISS

代表 藤 林 武 史

〒849-0925 佐賀市八丁畷町1-20

【事務局】 TEL/FAX (0952) 33-2130

E-mail [voiss@f3.dion.ne.jp](mailto:voiss@f3.dion.ne.jp)

ホームページ <http://www.f3.dion.ne.jp/~voiss>

